

請 願 文 書 表 (平成28年6月20日定例会提出)

請願第17号

横井町山林への新斎苑建設に反対する請願書 (市民環境委員会付託)

平成28年6月13日受理

請 願 者 ●●●●●●●●●●●●●●●●
古市町自治連合体
会長 中 尾 昇
紹介議員 中 西 吉 日 出

奈良市は、現在横井町山林へ新斎苑を建設する計画を進められています。その中には岩井川への橋梁設置も計画されています。しかし、こうした橋梁設置は、一般的な生活道路であるなら理解できますが、新斎苑へのアクセスのためだけでは、第一に安全性や経費の面から納得できません。

新斎苑の建設計画がなければ、このような危険な箇所に橋梁を設置する必要もありません。万一、周辺からの土砂崩れの土砂が流れ込んだ場合には、橋梁が崩壊する危険があります。

平成27年1月には、静岡県浜松市で土砂崩れによりつり橋が崩壊し、死者が出る災害が発生しました。また、先日の熊本地震においても橋梁が崩落しました。一たび自然災害が起これば、人間がつくった構造物などひとたまりもありません。

また、橋梁は冬季には凍結し危険が高まることから、利用者の安全のために凍結防止剤が頻繁に使用されれば、その成分が雨水とともに岩井川に流入し、河川の水質に影響が及ぶことが懸念されます。

さらに、河川中央部に橋脚の基礎を設置することで、その構造物から発生するさびやコンクリート等の成分により、水質汚濁が岩井川だけでなく、きれいになった大和川への悪影響が心配されるのではないのでしょうか。

以上のとおり、新斎苑建設のために岩井川に橋梁を設置することは、河川及び下流住民の生活に影響を及ぼすことが懸念されることから、横井町の山林への新斎苑の建設には反対します。